

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

コロンビアへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2024年10月08日（継続／引き上げ／引き下げ）

| | |
|---|------------------------------------|
| アラウカ県、カウカ県西部、ナリーニョ県西部、ノルテ・デ・サンタンデル県北部 | 〔レベル3〕 「渡航はやめてください。」（渡航中止勧告/継続） |
| カサナレ県北部のアラウカ県県境地域、カウカ県東部、ナリーニョ県東部、アンディオキア県北部、セサル県、ノルテ・デ・サンタンデル県南部、チョコ県、ボリーバリ県南部、コルドバ県南部、メタ県（アリアリ地域及びカニョ・クリスタレス地区を除く。）、ボヤカ県北部、バジェ・デル・カウカ県（カリ市の一部地域を除く。）、グアピアレ県、カケタ県、プトゥマヨ県並びにラ・グアヒラ県、ピチャダ県及びグアイニア県の3県におけるベネズエラとの国境付近 | 〔レベル2〕 「不要不急の渡航は止めてください。」（継続） |
| メタ県（アリアリ地域） | 〔レベル2〕 「不要不急の渡航は止めてください。」（引上げ） |
| メタ県カニョ・クリスタレス地区周辺 | 〔レベル1〕 「十分注意してください。」（引き下げ） |
| 上記以外の地域（サン・アンドレス島、プロビデンス島等の諸島を除く。） | 〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） |

【ポイント】

- ペトロ政権は全ての違法武装組織等を相手に和平交渉を進めようとしていますが、これらの組織同士の抗争や組織内の勢力争い等も含め、治安情勢は流動化しています。最新の関連情報の収集に努め、危険レベル1の地域でもテロ、誘拐、殺人等に十分に注意してください。
- 都市部を離れるほど治安当局の影響力が及ばなくなるため、犯罪等に巻き込まれる危険性が高まります。また、デモやストライキによる道路封鎖、土砂崩れによる道路の通行止めなどが各所で頻繁に起きています。危険レベル2以上の地域を陸路で通過することは避けてください。
- メタ県アリアリ地域は、同県内の他地域（カニョ・クリスタレス地区周辺を除く。）と同様に、違法武装組織等の活動が確認されているほか、高い犯罪発生率を記録していることから危険レベル2に引き上げます。
- メタ県のカニョ・クリスタレス地区周辺は観光地として、治安機関による重点的・継続的な警戒活動が行われていることによって、長期間にわたり外国人観光客が被害者となる殺人・強盗などの重大凶悪事案は確認されていないことから、危険レベル1に引き下げます。ただし、同地区周辺を除くメタ県全域は危険レベル2であり、依然として違法武装組織等の活動が認められているため、同地区周辺を訪問する際は、陸路での移動は厳に避けること、空路による移動を行うことを強く推奨します。

【概況】

- (1) コロンビアでは、2016年のコロンビア革命軍（FARC）と和平合意後も、国境付近や山岳地帯を中心に、和平合意に参加しなかったFARCの分派や国民解放軍（ELN）等の違法武装組織等が残存し、治安当局への攻撃が発生しています。また違法武装組織等によるテロ、麻薬密売にかかる犯罪、一般犯罪が依然として数多く発生しています。
2023年のテロ発生数については前年比で大幅に減少している一方で、誘拐事件の発生件数は増加傾向であり注意が必要です。
また、窃盗等の街頭犯罪も増加傾向にあります。犯人は銃器や刃物等の凶器を使用することが多く、2016年11月には、メデジン市において邦人旅行者が強盗に射殺される事件が発生するなど、特に注意が必要です。
- (2) ペトロ政権による違法武装組織等との交渉の行方はまだ見えておらず、2016年の政府との和平合意に参加しなかったFARCの分派、ELNやその他の違法武装組織等は、麻薬取引等による連携や敵対、組織内でのリーダーシップ争い等の内部抗争を引き起こすなど、今後の治安情勢は流動的です。現在、これらの勢力の活動範囲は主に政府の取締りが手薄なエクアドルとの国境、ベネズエラとの国境に近い地域及び太平洋岸に集中しています。
- (3) 違法武装組織等は恐喝、誘拐の身代金、麻薬生産・取引及び違法鉱山の運営を資金源としています。特に農村部など、都市部を離れるほど治安当局の影響力が弱くなるため、犯罪等に巻き込まれる危険性が高まります。また、幹線道路でも、パトロール中の警察官や軍等を標的とした小規模な爆弾の爆発も散発しています。危険レベル2以上の地域を陸路で通過することは避けてください。
- (4) 2022年8月に発足したペトロ政権は、全ての違法武装組織等を相手に和平に向けた取引を呼びかけ、現在ELNをはじめとする各組織との交渉や対話が行われていますが、今後、これらの交渉が和平実現に向けて結実するかについては、動静を注視する必要があります。
- (5) コロンビアにおける爆弾テロの発生件数は減少傾向にあるものの、警察、軍等の治安当局及びその他政府機関を対象としたものや、石油パイプライン、油井、発電施設、送電塔、橋等インフラ設備の破壊を目的としたものが依然として発生しています。爆弾テロの手段としては、麻薬栽培地に埋設した手製の対地雷又は殺傷力の低い手製の手りゅう弾や、有線又は無線の遠隔操作で爆発させるシリンダー型爆弾などがあります。さらに、爆弾テロの手段として、最初の爆発に続けて、見物人や爆弾処理班を狙った遠隔操作による二次爆発もありますので、爆発直後にその現場には決して安易近づかないようにしてください。
2024年中は、主にバジェ・デル・カウカ県南部及びカウカ県北部において、爆弾を積載したドローンによる、軍・警察施設やサッカー場等多数人が集まる場所に対するテロが発生しております。
- (6) コロンビアでは2001年にボゴタ市でFARCに誘拐された邦人が2003年に殺害された事件や、2010年3月にコロンビア南部の山間部で誘拐された邦人が同年8月まで拘束された事件など、過去に日本人が被害に遭う事件が発生しています。また、近年、都市部で犯罪組織がタクシーを偽装して乗客・家族から身代金を要求する短時間誘拐「パセオ・ミジョナリオ」が多く発生しています。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。